

地衣類と生き物 2021.3.6 自然解説員 神谷耀生

木や岩やコンクリートに生える「コケ」の中には、本物のコケそっくりな不思議なキノコ、「地衣類(ちいらい)」がまざっているというお話を前回しました。イワタケという名前の地衣類は、日本の一部の地域で食用にされています。ところで、人間以外にも地衣類を食べる生き物はいるのでしょうか。

青緑色の地衣類でこなをふいたようにおおわれた木のみきをよく見ると、なにやらもそもそと動く小さなかたまりが。これは……？



正体はシラホシコヤガの幼虫。地衣類をエサにして育つイモムシです。食べるだけでなく、かじりとった地衣類で全身をおおってカモフラージュし、地衣類の上で暮らします。衣、食、住 ぜんぶ地衣類。まるで、マンモスの毛皮で衣服を作り、肉を食べ、骨で家を建てていたわれわれのご先祖さまのようですね。

その他にも、地衣類そっくりなもようをしたガの成虫もいますし、南アメリカには全身からトゲを生やして地衣類に擬態(ぎたい)し地衣類を食べるツコムシの仲間(サルオガセギス)などがいます。

また、北の大地では、トナカイたちがトナカイゴケとも呼ばれる地衣類を食べます。あまり栄養はなさそうですが、寒さの厳しい北極圏の冬を生きのびるために口にできるものはなんでも食べるのが、野生のおきてなのかもしれませんね。

作成：2021年3月 21世紀の森と広場 パークセンター